

もがみまち 議会だより

3月
定例議会

No.164
2019年 4月25日



赤倉小学校
「最後の入学式」

- 平成31年度 予算案可決…2～3
- 3月定例会 議案審議…4～8
- 町政を問う～7議員が一般質問…9～15
- 特別委員会報告／表彰…16
- 議員懇談会報告／請願…17
- おらだの声…18



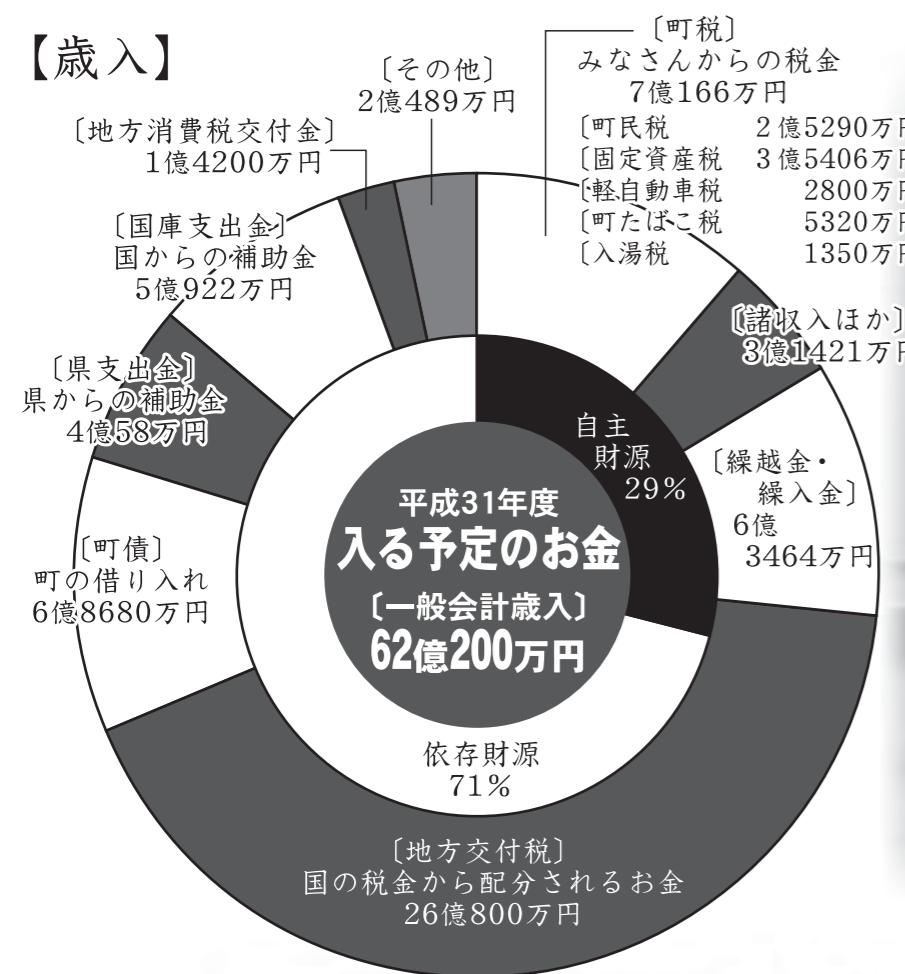
災害に8億円!

総額 109億9550万円

平成31年3月定例会を、3月5日から14日までの会期で開きました。

今回は、平成31年度予算を中心に、人事案件、条例の制定や改正、補正予算などこのうち町の仕事の大部分を占める平成31年度一般会計予算は、62億200万円と予算の執行にあたっては、最小の経費で最大の効果が得られるよう多くの意見を提

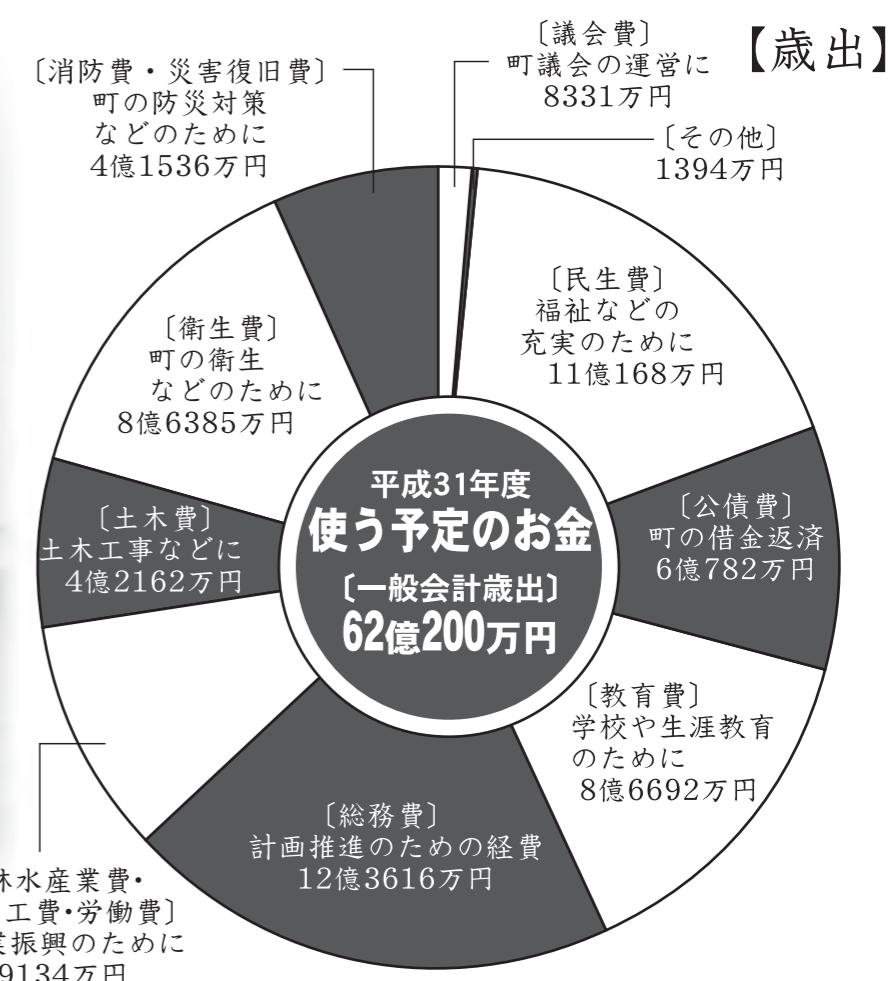
【歳入】



町の貯金 → H29年 8億円から
H31年 5800万円に

■一般会計 62億200万円 ■特別会計 47億9350万円

提出された28の議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。なり、前年度当初予算対比で6.3%の増となりました。案しました。



国民健康保険事業	10億円	水道事業	4億2560万円
後期高齢者医療事業	1億450万円	瀬見温泉管理事業	1275万円
介護保険事業	12億2700万円	農業集落排水事業	2107万円
最上病院事業	12億9860万円	下水道事業	2億697万円
介護老人保健施設事業	3億6966万円	浄化槽事業	1億2735万円

若者定住環境モデルタウン

問 地域熱設備修繕費800万円の原因、専決処分の理由は？

答 地下に埋没した温水管からの漏水が疑われたため、早急に対応が必要であったことから専決させて頂きました。

問 施工業者の責任はな
いのか？

答 温水漏れの原因是調査中です。原因により責任について協議が必要になると考えております。

区長設置条例

問 集落内に複数の区長
がいる場合や、自治会

大黒柱検診

問 大黒柱検診の受診率
を伸ばすための考えは？

答 糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の把握に有効な、特定健康診査の重要性を周知し、受診率の向上に努めて参ります。

林道最上奥の細道線

問 林道最上奥の細道線
の進捗率と完成年は？

答 事業年度は平成31年度までであります。現時点で約55%の進捗率となっております。

県ではこれから事業期間の延長を含めた事業計画の変更を行う予定であります。町として事業の早期完成に向け県に強く要望して参ります。

答 現在、1年生の教養講座の中で、年に2回フレルドワークという形で最上町に来て頂いています。今後は関わりを強めるために、町のイベントに招待したり、町内の子供達の学習サポートやフォーラムの様な形で地

職員の旅費に関する条例

問 この度の減額は車両の借上げに係るもので、臨時職員も同じか、またどの位の減額になるのか？

答 臨時職員の車両を借り上げることにしておりません。また、公用車が配車できない場合の措置であり、かなり少額の減額に止まるものと予想しております。

問 モデルタウン農園整備工事請負費100万のマイナス補正はなぜなのか？

答 新たな区長条例の制定と併せ、協働のまちづくりを基本的に進める条例の制定をも考えながら取り組んでいきます。

平成30年度補正予算**若者定住環境モデルタウン農園整備**

問 モデルタウン農園整備工事請負費100万のマイナス補正はなぜなのか？

答 アンケートの結果、30年度に開園を希望する人がいなかつたので整備を見合させ、予算を減額しました。

問 大きな費用が必要とのことだが、どんな財源で実施していくのか？

答 32年度まで発行できる有利な地方債である「緊急防災・減災事業債」を活用し、後年度、起債償還には県補助も活用していきます。

防災行政無線デジタル化の財源

問 大きな費用が必要とのことだが、どんな財源で実施していくのか？

答 32年度まで発行できる有利な地方債である「緊急防災・減災事業債」を活用し、後年度、起債償還には県補助も活用していきます。

人事案件

◇副町長
笠原 栄氏（新田）
任期：2019年4月1日
～2023年3月31日まで

赤倉ゆけむり館

問 職員だけではなく、一般企業にも波及できるよう町からも呼びかけをするべきでは？

答 町職員の休暇を参考にしている企業も存在するかもしれませんので、PRして参ります。

マンモグラフィ

域の若者や住民との交流会なども企画したいと考えています。

除雪費

問 乳がん検診のマンモグラフィで苦痛のない機械があると聞いたが、町立病院の整備はいかがか？

答 現在の機械は15年前に導入したもので、今後の整備にあたっては痛みの少ない最新の機械を導入したいと考えています。

平成30年度臨時議会 2/7(木)

問 今回の補正で今後3月まで賄うことができ見るのか？

答 今までの経験値からの見通しは？

平成30年度臨時議会 3/28(木)

問 町有地の売却価格の根拠は？

答 富沢字大明神の町有地を自ら造成を行つた貸借中の法人に対し、土地整形等に要した費用を国が示す基準により計算し、適正時価から控除し計算したもの。



▲モデルタウン



▲山形大学の学生と町内の小学生

問 それぞれの売却面積と売却価格は？

答 富沢字大明神の町有地は2万2594m²を163万8156円で売却するものです。

答 志茂字上野地内の町有地は8539m²を2525万2661円で売却するものです。

町は町有財産の有効活用を企業支援と合わせて目指すところです。

答 日中一時支援給付は、町内の障がい者を日中一時に預かる支援サービスになります。又、就労介護の1名の方が、満澤らいすに昨年6月に開所した就労支援事業所で、

問 障がい者日中一時支援給付と就労継続支援B型の内容は？

答 町の財政事情や昨年の大雨の災害復旧もありますが、集落一律交付から複数集落での文化活動や祭りなどの事業を支援するために減額になりました。

問 交付金が昨年1200万円から今年度610万円になった内容は？

集落自治活性化支援交付金



▲存続の危機にある最上校

最上校の入学者減少

答 今後、最上校に対しどう応援していくのか？

答 次年度の入学者数が20人以上になるよう必要性をPRしていくと共に、日本福祉大や大正大学との高・大連携による魅力等をもつともっと発信し、存続に向けて頑張ります。

障がい者向けの軽作業などの生産活動を行う福祉サービスを受けています。

多面的機能支援交付金

答 農業技術の確立については？

答 農畜産物の生産技術の継承については、各生産組織を中心に取り組んでいますが、園芸では県やJAの指導のもと生産部会などで目揃え会や研修を開催しレベルアップを図っています。

答 交付金の差による活動の温度差はあるが、最低限の泥上げや草刈りを行っています。多面的組織代表者会議では他の集落の先進事例を紹介し、全体のレベルアップを図っております。

問 取り組みにあたり地域間で温度差があるのでは？

分水嶺に常設トイレを

赤倉ゆけむり館運営費



▲赤倉ゆけむり館

答 現在、封人の家に訪れての方は、公民館のトイレを設置する考えは？

答 現在、住民の方と観光関係者の話し合いで新年度中には結論を出したいと思います。

答 東の玄関口である堺田の分水嶺に常設トイレを設置する考えは？

ふるさと納税事業

赤倉ゆけむり館運営費

答 昨年5月からの実績を踏まえた施設管理委託料の人員体制に伴い増額になりました。また今後の運営に関しては、3年程度を直営で行いながら、町と指定管理者の区分を明確にして指定管理をお願いしていきたいと考えております。

平成31年度 予算 予算特別委員会報告 委員長 菅 枝悦

予算は町政運営の設計書であり、町の発展と市民の幸せと、福利厚生に向けた大事な審議であることを重視して審査を致しました。特に平成最後の1ヶ月分と新たな元号11ヶ月分、2元号にまたがる予算審議で付託されました案件は、一般会計予算から浄化槽事業特別会計までの11案件であり、審査期間は3月7日～3月13日まで、296回の質疑と317回の答弁があり、特に昨年の2回に及ぶ災害についてや、今後の町づくり福祉等について多方面から慎重に審査した結果、一般会計予算は賛成多数で、10の特別会計は全員を持って原案通り認定すべきものと決しました。

今後は、予算が市民の幸せと町の発展のため、政策に反映していただくようお願いをし報告といたします。

地方消費税交付金

瀬見温泉共同浴場

6

問 今年10月に増税される分は含まれているのか？

答 減見温泉共同浴場の源泉温度が高いので、浴場やシャワーの温度を調整する工事に活用するも

めとして前年度対比40万円という微増の計上としています。

答 減見温泉共同浴場の中でも、利用者が多くなっていることと合わせて、現在の各種割引料金の見直しを見込んで歳入増額としました。

赤倉温泉スキー場

防災行政無線受信機

問 リフト使用料が大きく増額しているが要因は？

答 営業力が強化され、高校生や大学生の合宿などで900名に利用されるなど利用者が多くなっていることと合わせて、現在の各種割引料金の見直しを見込んで歳入増額としました。

問 デジタル化事業で現在各家庭にある受信機がそのまま使えるのか？

答 現在各家庭にはアナログ個別受信機が約1万台あります。今後2年間で投げる5億円の事業の中でも、利用者に不便をきたさないように、デジタル個別受信機の配布を始め、受信システムの向上を図っていきます。



▲赤倉温泉スキー場開き

6

6

6

問 交流拠点施設整備事業費440万円の使途は？

答 減見温泉共同浴場の中でも、利用者が多くなっていることと合わせて、現在の各種割引料金の見直しを見込んで歳入増額としました。

6



町政を問う

行政全般にわたる議員主導による政策議論です

7 議員が一般質問

厳しさの増す行財政運営に懸ける決意は

い はか い な 町長答弁 「入るを量りて、出するを為す」 を基本に全力で取り組む



渡邊英俊議員

質問 1年ごとに厳しさが増す行財政運営に大胆な事業仕分けの必要性が問われているのでは。地方交付税の減少が続く中、歳入の見通しをしつかり見極め、今、何をすべきか言葉だけでなく、まつたなしの行動力が求められている。近い将来に大変な時期が来るのは明らかであり、新たな経営感覚を再構築し、努力を望むものであります。

今期に懸ける首長の行財政改革の考え方を伺います。

邊英俊議員



▲建築が進む防災倉庫・広場

り、また永続的経営をす
るための環境整備にはメ
リハリをつけた支援も検
討するべきと考えます。

財政窮迫の折り「入る
を量り、出するを為す」
要であり、これまでによ
うな基金に依存して帳尻
を合わせることが出来な
くなることも想定してお

ります。財源の工夫をしつかり見定め、その入る財源に見合った事業展開を続けることで、最上町が最上町であり続け、そして最上（さいじょう）の町と言われるよう、全力で取り組んで参ります。

町の厳しい財政状況の中、各課の調整を図りながら歳入と歳出の状況をしつかり検証し、予算を組んでいます。しかし積雪の回数によつても経費が変わつてくる状況があり、計上の仕方には検討が必要であるとも感じています。

答 町の厳しい財政状況の中、各課の調整を図りながら歳入と歳出の状況をしつかり検証し、予算を組んでいます。しかし積雪の回数によつても経費が変わつてくる状況があり、計上の仕方には検討が必要であるとも感じています。

激甚災害指定ならず	よれば、小学校で60数件、中学校で10数件見られたが、重大事態はありませんでした。
問 なぜ当町が指定されなかつたのか？	答 激甚災害の指定にはいくつもの要素があり、たとえば農業災害については農業所得の10%を越える被害のあつた地域が指定される状況があり、それら認定上の規定に満たなかつたものと認識しています。
最上病院の将来像	問 人口減少に伴う将来像については？

問 なぜ当町が指定されなかつたのか？	激甚災害指定ならず
	よれば、小学校で60数件、中学校で10数件見られたが、重大事態はありませんでした。

期から慢性期の治療へシフトしていくという2つの側面から検討し進んでいる状況です。

期から慢性期の治療へシフトしていくという2つの側面から検討し進んでいる状況です。

問 行財政改革の見直しの考えは？また、今年度の予算を見れば32年度の編成が出来ないのでは。新年度に入つてすぐ予算編成を考えながら進めるべきでは？

行財政改革

平成31年度最上広域市町村圏事務組合（新規）主要事業概要

【31年度予算／28億500万円 最上町負担／3億1191万円】

- ①総合開発センター 硙素石掘修繕事業 【643万円】
※硫素石堀が不適格なため安心安全な対策を要するため

②最上広域交流センター 交流広場高天井照明器具修繕事業 【1336万円】
※LED高天井高温環境用に交換するため(20箇所)
もがみ体験館リニューアル事業 【877万円】 ※ゆめりあ改装工事

▲西支署に配備

③リサイクルプラザもがみ計量設備更新事業 【1423万円】
※劣化が非常に進んでいる状態なのでトラックスケール及び連動している機器の更新

④もがみクリーンセンター汚泥運搬処理事業 【3916万円】 ※脱水汚泥の収集運搬及び処理

⑤豪雨災害による復旧事業 【1616万円】
※エコプラザ、リサイクルプラザ、最終処分場、クリーンセンター等の補修

⑥他言語コールサービス整備事業 【39万円】
※電話同時通訳サービスを用いて通報者及びコールセンター間の三者通話にて相互通話を実現

⑦消防施設整備事業(ポンプ車更新事業) 【9767万円】
※西支署配備(小型水槽登載)、本署配備(町村火災の一次出場、小型水槽登載無し)



▲五主翼に配備されたボンネット車と同様の車両

最上病院の検診事業、経営等の強化を！



町長答弁 がん検診の充実、 独立採算性の経営に努めます

次に、4億以上を病院へ繰り入れており町の財政状況から今後の病院経営の考えは？

電子カルテを導入しているが、再検査等で県立新庄病院に行くと時間も費用も増えるが簡素化にならないか？

二戸 守議員



▲ 檢診車

の簡素化は、ネイティブシステム「もがみネット」がありますが情報共有まで至らず、機能強化が課題となっています。今後も可能なところから連携強化を図ります。

上の二戸の姓があり、全国的にも圧倒的に多いことが判りました。最上町の文化向上に活躍されている方々と、歴史を探究したい方々、そしてそれらを共有し、町づくりに活かしたい方々へと繋いでいくことが必要で、町民の宝となるものを官民協働で築き、磨き合い、情報を効果的に発信活用する体制づくりを進めて参ります。

答弁 基本検診の充実、病院経営と一般会計予算からの繰入金に対し、これまで以上に医療と介護の連携が不可欠とされるなか、繰入金の軽減化を図るなど独立採算性の基本原則に基づいた経営に努めます。

ついて、疾病的早期発見と早期治療が極めて重要です。今後は受診対象者の若齢化にむけた検討を含め検診率向上に向けた啓発活動の充実、受診環境等を検討し、最上病院との連携強に努めて参ります。

再検査等の簡素化は、ネットワークシステム「も

質問 全国の中でも、二戸の姓は最上町から始まっているめずらしい名字です。岩手県二戸市から来たと言われています。二戸市は歴史や文化を大事にしており、交流を進め町づくりに活かせないか？

町民体育館の今後の維持管理を伺う



町長答弁 大規模改修については困難な状況

質問 「社会教育施設」は公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等で地域住民の学習、文化、スポーツ活動を支えています。町民体育館の老朽化対策が大きな課題となつていて、公共施設の維持管理・修繕費が年々厳しく計上されているようになります。

町長はよく「町民体育館の大規模改修工事は行いません」と言われていますが、今後、町民体育館の老朽化が進み維持困難になつていずれ使用中止の判断

答弁 昭和53年11月
一パンしてから、40年が経過し老朽化する損傷が著しくなります。



▲老朽化が進む町民体育館



▲卓球大会

をしなければならない
その時が来ると思われ
ますが、町として、い
つ使用中止を考えてい
るのか方向性を示す時
期であると思いますが
考え方お伺いします。

によれば、アリーナ天井部分の照明設備などを改修するためには、足場設置だけで500万円以上、工事費全体では1800万円以上という試算がありました。

ことは必至であります。
今後、大規模改修を行うことは、財政的な面からも困難な状況であると言わざるを得ません。
しかし、町民体育館アリーナは現在でも町内最大の屋内施設であり、各種大会や合宿などで、ご利用いただいております。
市民体育館の利用が終了となる具体的な時期について決定しました際には、遅滞なく町民の皆様にお知らせして参りたいと考えております。

「農業は産業」方向性を問う



大沼正視 議員

町長答弁 人、農地、地域の課題解決を目指す

質問 昨今、最上町米農家が畠地化に目覚めたのかJA野菜販売30億円達成祝賀会が開かれたと聞きました。アスパラ、ニラ、ネギ、花卉部会等々のリーダーが育つてきているとすれば、「農地も職場となり産業となり紹介できる手の育成、新規農担い手の育成、新規農

業者へのサポートは不可欠です。今、現に一千万円農家が育つているのも事実ですが、今後の政策の方向性を伺います。

答弁

本町の圃場整備事業は、平成14年まで県営団体合わせ1065ha整備され50%です。畠地化事業や園芸作物の圃場拡大により、圃上整備が進んでいません。「ご指摘のとおり担い手の確保と新規就農者の発掘を具体的に進め、どの担い手にどの作物を栽培してもらい集落でどうバランスアップしていくかについて考え将来性を担保に、いい環境となっています。農者に対する交付金の対象年齢も45歳から50歳までと緩和され新規就農へ算入し一方、町では「人農地プラン」を作成し集落での営農

質問 紅梅荘跡地定住対策の考え方について。平成28年に跡地に若者定住住宅整備がなされ2年の経過となりました。建売についてA型・B型とも売値を下げる対応、その後の状況又は、当初に買取し合いの経過を伺います。



▲草刈り作業

「最上町ブランド」の再構築をするべき



町長答弁 一貫性を持たせ、情報を効果的に発信していく

質問 現在、町のイメージを短い言葉で表したキャッチコピーには、「森が人をつなぐまち」「キラリ輝く田園空間博物館」「子育て王国」などあります。ですが、それ素晴らしい理念は伝わりますが、たくさんあります。よく分からぬ印象です。「最上町といえば○○のまち」とすぐに理解される一貫性のあるブランドティングを行うことによって、今やるべきことが明確になり、あれもこれも事業を行

うのではない、事業の選択と集中につながると思いますが?」

答弁 平成31年度は、地方創生における新しい町の総合戦略の策定に向かいます。町のブランドが増すこと、PR強度が増すことで、事業活性化していくと言う点では「最上町ブランド」に一貫性を有する必要があります。

質問 自然を生かした町づくりを進めいくために、木材製品の開発、雪を使った雪室や冷房システムの導入などの展開は?

物の貯蔵、保管に雪を活用できることなど、最上町には、誇れる地域文化、人、モノがあるというこ

とをあらためて認識させて頂きました。雪の活用については、大いに検討させていただきます。



▲植樹活動

質問 最上町は、面積の84%が森林であります。まもなく創設される森林環境税を利用しながら、板橋区からの教育旅行や「企業の森」の植樹を通じた交流事業を行い、交流人口を拡大させる

ことによって、町内の地場産業の育成が図られることが、木材の活用には必要だと考えています。また、農作

続縛をどう図っていくか確実に実行できるかを共有しています。圃上整備事業の平成32年度の調査計画の採択に向けて事業進歩を図つていき、将来の担い手のために基盤整備事業の必要性を啓発活動や事業説明を行つて参りたいと考えております。

質問 紅梅荘跡地定住対策の考え方について。平成28年に跡地に若者定住住宅整備がなされ2年の経過となりました。建売についてA型・B型とも売値を下げる対応、その後の状況又は、当初に買取し合いの経過を伺います。

図るべく開始し、2棟の売買契約が整い、もう1棟の契約が整う予定となつていて、一定の効果を発揮したと思っています。方に対し直接ご説明を下さい上げ、理解を頂いたところであります。残る2棟の早期販売に結びつけて参ります。なお現時点の「若者定住環境モデルタウン」への入居決定状況につきましては受け入れ総数23世帯に対し78%

小学校統合後の閉校校舎の活用は

町長答弁 今後検討していく



佐澤 浩 議員

質問 地域住民の心のよりどころとして、また文化活動の中心として、無限の貢献を続けてきた小学校。先人の文化遺産や、尊い伝統を受け継ぐと共に、恵まれた風土や気候を通じて育まれた価値観を共有しながら地域の連帯感、新しい文化構築を目指していただいた。さらに考え方や感性を共に磨き、素晴らしい自然、大地に感謝しながら未来に向かう活動を繰り広げ創意工夫の中で、広い視野と判断力のある人づくり、地

答弁 統合後の校舎の活用については現在のところはつきりとまとまった方向性は示していません。月橋小学校についても、放課後児童クラブや田んぼアートの参観所、大正大学の学生が来町された際の学習の場として活用しております。



▲元気に遊ぶ放課後児童クラブの子供達

自助、共助、公助の役割を明確に示す「最上町基本条例」の制定を

町長答弁 新しい区長制度を目指し、自治条例の制定も検討します



橋本 正 議員

質問 「自治協働のまちづくり」を掲げてから20年を迎えております。自助、共助公助でのそれぞれの役割を明確にし部落区長設置条例の改正を期に「最上町基本条例」の新たな設置に向けていくべきと考えます。31年度の予算編成をみて、これから益々厳しくなるなか町民の役割、行政の役割、議会の役割と自分の所は自らの地域で守る、支えるを基本にはつきりと示すべきと考えます。

答弁 「自立と協働、人と地域が支え合い、役割の実感できるまちづくりの推進」にも端的に表れています。限られた予算を有効に活用するためには、「今行わなければならぬこと」のためには、「あれも、これも」から「あれか、これか」と判断する局面に向き合わなければならぬものと見えます。具体的な事例を上げれば、「自主防災組織の確立」や「冬期間の一斉除雪の推進」「公共施設等の統合管理計画」の具体的な練り上げなどです。

自主防災組織の確立については、公助が追いつかない場面に対し、町民の皆さんから力を合わせて頂くことで非常事態を乗り越えていけるものと考へるところです。

全ての地域に同じレベルで、同じく地域づくり、歴史づくりに取り組んでいただきたい。歴史と伝統を培ってくれた先人への感謝を忘れてはならない、地域の潜在力を外に向け大いに発揮していくべきだ。まだまだ多くの課題解決に向けて、新しい地域文化を創造する勇気と自信を育成していくべきだ。

小学校統合後の閉校校舎の考えについて伺います。

統合後の校舎の活用については、現状のところはつきりとまとまりた方向性は示していません。月橋小学校についても、放課後児童クラブや田んぼアートの参観所、大正大学の学生が来町された際の学習の場として活用しております。

「学びは統合しても学びの場はこれからも活用する」という基本的な考えは変わりません。

昨今の財政状況を考え、空き校舎活用に多額の公費を投入するという選択肢は外しながら、民間の活力を活かすことも考慮に入れ、空き校舎の活用についても今後検討していく所存です。



▲町民運動会

答弁

「自立と協働、人と地域が支え合い、役割の実感できるまちづくりを推進」にも端的に表れています。限られた予算を有効に活用するためには、「今行わなければならぬこと」のためには、「あれも、これも」から「あれか、これか」と判断する局面に向き合わなければならぬものと見えます。

具体的な事例を上げれば、「自主防災組織の確立」や「冬期間の一斉除雪の推進」「公共施設等の統合管理計画」の具体的な練り上げなどです。

自主防災組織の確立については、公助が追いつかない場面に対し、町民の皆さんから力を合わせて頂くことで非常事態を乗り越えていけるものと考へるところです。

ルで、同じだけの除雪費を投入するという発想ばかりでなく、町民の皆さんから協力を頂くことで、高齢者世帯を支援する間口除雪も町民同士の支え合いが基盤であります。重要なことは行政と町民の皆さんとが補完し合うことであると考へます。

新しい区長制度に関する条例の制定を目指す間、改めて自治を捉え、そして発展させるいわゆる自治条例の制定も同時に検討しております。

主役である町民の皆さんとも議論した上でその制定を着実に目指して参ります。

新たなウエルネスタウン最上の 創造に関する特別委員会報告

特別委員長 石原 英一

「ときどき入院（入所）ほぼ在宅」の実現に向けて

今後ますます進むであろう高齢者の増加や、地域における限られた施設数（ベッド数）の中で我々町民が「住み慣れたところで住み続けていく」ために、どうあるべきかを考えたとき、これまでのよう全ての町民が施設での介護や療養を送ることは不可能であり、「ときどき入院（入所）ほぼ在宅」の地域包括ケア体制の確立は我が町の医療・福祉分野に於ける最大の政策課題であり、なんどしても実現させねばならない政策です。この政策を実現するためには訪問医療、訪問看護、訪問介護等のスタッフの充実と共に、町立最上病院の改革も同時進行でなければなりません。そこで以下について早急に取り組むように願います。

・医師の確保策について
・看護師や介護士のなり手不足の対応策について
・最上病院の患者数の減少対策について
・最上病院の入院日数の長期化対策について
・最上病院経営改革について

れましたが、目標の地域包括ケア体制にはまだ遠く、町民の不安解消には至りません。今後はこれまで導き出した「解答」や「改善策」を確実に、そして速やかに実行してくれることを切に願い特別委員会よりの提言と致します。



▲町立病院

7人の議員に表彰状



▲3月定例会 初日に伝達されました

菅 俊郎	伊藤一雄
佐藤義男	渡邊英俊
県議長会表彰	全国議長会表彰
二戸 守	大沼正視
県議長会表彰	県議長会表彰

教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説



Q 町の基金とは？

A 特定目的のために財産を維持し、運用するための資金や財産のことです。

Q 何種類があるって聞いたけど？

A 大きく積立基金と運用基金の2種類があります。
○積立基金（14基金）財政調整基金・農業振興基金・教育振興基金・スキー振興基金など
○運用基金（4基金）あすなろ修学基金・大場育英基金・和牛繁殖雌牛導入基金・家畜導入基金など

Q 基金の状況は？

A 平成30年度末の見込み残高は、積立基金で6億7923万円、運用基金で6784万円、総額7億4707万円になります。

請願について審査しました

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について	(一社)山形県ハイヤー協会 会長 石川康夫 全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部 執行委員長 遠藤栄二	宮本 浩	総務文教 常任委員会	継続審査

【継続審査理由】…ライドシェアに対する動向や関連を、更に調査するため、継続して審査すべきとしました。

※ライドシェアとは…ライド（乗ること）をシェア（共有）すること。乗用車の相乗りのように移動したい人とドライバーを結びつけるサービスの総称。

議会活性化に関する議員懇談会報告

議会活性化については、議員及び議会に課せられた最大のテーマであり議員各自、日々の活動は勿論議会としてあるべき姿について適宜、議員懇談会の場で議論を重ねております。

現在様々な考え方のある「議員定数」については、町の命運を左右する重大な案件を決定する二元代表制を維持するため、多様な考え方を持つた一定程度の議員数は不可欠であり、多様な人が議会に参画するためにも現行定数が必要との考え方で一致しております。

報酬についても新たな人材確保のため県内では月額アップを行った議会もありますが、当議会にあっては少なくとも

現状維持すべきとの考え方と

なっています。いずれにしても定数及び報酬については重要な案件であり、社会状況の変化等を鑑み対応する必要も確認しております。

今、全国的に地方議会の最大の課題は議員の成り手不足解消であり、これまでの懇談会では、特に定数・報酬の件について話し合ってきました。究極の議会活性化は多様な人材が議会に参画することであるうかと思います。そのための環境をどのように整えるべきかも含め、議会活性化について、町民の皆様と共に考えて、努力して参りますので今後とも御指導のほどよろしくお願い申します。



結城 賢典さん [向町]

自営業

「最上町の魅力」

お
ら
だ
の
声

雪もとけ、ようやく春の暖かさを感じられる季節になりました。

今年の雪は少ないといわれ、スキー場や除雪などに携わる方は大変だったと思われます。

私はUターンで3年前に最上町に帰ってきました。帰ってきてから感じたのは、地域のお祭りや様々なイベント、温泉、スキー場、山菜、アスパラなど最上町ならではの魅力が沢山あるということです。雪も多いですが、自然も温泉も美味しいものもたくさんある最上町。そんな最上町の魅力を多くの人に知ってもらい、Uターン、Iターンの人達も増えていくことを期待します！

■編集発行／山形県最上郡最上町議会広報編集委員会

最上町役場／山形県最上郡最上町大字向町644

http://mogami.ty

議会傍聴へのご案内

次の定例会は 6月 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで **043-2362**
(直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数
のべ **2286** 回

議会傍聴者数 のべ **68** 人でした

QRコード

過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます

委 員	議 長	【発行責任者】		
副委員長	菅 菲	（宮本 浩）		
宮 本	佐 澤	石 原	尾 形	二 戸
浩 正	英 一	勝 雄	守 俊	郎

【広報編集委員会】

議会の主な動き

1月24日 大崎市議会との交流会

最上町議会と鳴成会(旧鳴子町議会)の交流は、平成11年から毎年1回開催し親睦を深めています。今年から大崎市議会との交流会になりました。研修会では、観光に於ける県境を跨いだ連携について、世界農業遺産の「大崎耕土」の伝統的管理システムについて講演して頂きました。



2月15日 最上町教育懇談会

元最上中学校校長であった阿部和生氏から「最上町の教育に期待すること」というテーマのもと、開かれた学校づくりの活動や大学生との更なる交流・連携の大切さを講演して頂きました。



3月16日 最上中学校 卒業式

第33回卒業証書授与式が行われ、78名の卒業生が学舎を卒立っていました。子ども達の更なるご活躍を議員一同、心よりお祈りしています。



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

編集後記

▽新しい時代の始まり
「平成」に代わる新元号として「令和」が公表され、誰もが新しい時代の始まりを感じたのではないでしょうが、單に西暦のように数字の積み重ねではなく元号といふ形で時代を区切り、どういう時代になつていただきたいかを願いとして2文字の漢字に込めるることは、先の見えない世界を進んでいく中にあって國民の心の指針になつていると感じました。新しい時代、最上町はどのような時代になつていくのか?傍観者のではなく、自分たちで時代を創っていく。「平成」から「令和」と時代は移り変わつても、そういうまちづくりの思いは変わらずに、進んでいきたいと思います。